



NISSENREN

やさしいまちづくりのお手伝い

地元にいちばんあなたにいちばん通信

発行日
2020.3.18
発行者
株式会社日専連ライフサービス
協同組合 日専連仙台
住所
〒980-6109
仙台市青葉区中央1-3-1 AEROF
TEL022-267-9222

第36回 仙台青葉まつり

5月17日(日)開催

その昔、政宗公が江戸から仙台にお国入りしたことを喜び、行われた「仙台祭り」を源とする仙台青葉まつり。仙台の初夏を彩る風物詩となり、毎年全国からおよそ100万人もの観光客が訪れます。

第24代 同

日専連政宗公兜山鉾

木漏れ日ぎらめく新緑のケヤキ並木の下、お囃子の笛太鼓の音にあわせて、にぎやかに扇を翻しながらすずめ達に見物客も心が躍ります。

青葉まつり最大の見どころは壮大な時代絵巻が繰り広げられる11基の山鉾巡行と圧巻の武者行列。その中でも毎年ひどい大きな拍手と歓声で沿道の人々に迎えられるのが、最大級の大きさを誇る「日専連政宗公兜山鉾」に搭乗する「愛姫」です。世界が日本に注目するこの夏は、時代を超えて現代に現れた愛姫の可憐な笑顔で幕開けです。

◆可憐な笑顔で青葉まつりを華やかに
彩ってくれるヒロインを募集いたします。

「愛姫」応募は封書またはメールで

応募資格は宮城県内の
小学6年生の女の子
たくさんのご応募をお待ちして
おります。

●2020年4月から小学校6年になる
宮城県内在住の女の子。

●5月17日(日)青葉まつり当日、山鉾巡行パレードで女性の保護者と一緒に山鉾に乗つていただける方。

●締切・2020年3月23日(月)必着

愛姫（めごひめ）
第23代愛姫



すすめ踊り

「すすめ踊り」の由来は、伊達家の家紋が「竹に雀」で、泉州堺から来ていた石工たちが即興で披露した踊りが「すすめ踊り」の始まりと言われています。
伊達城東城の裏の席で、伊達家の家紋が「竹に雀」で、あつたことがひとつ理由です。仙台城東城の裏の席で、泉州堺から来ていた石工たちが即興で披露した踊りが「すすめ踊り」の始まりと言われています。
伊達政宗公を祭神とする青葉神社の「青葉まつり」が始まったのは明治に入つてからで、政宗公の命日である5月24日に行われるようになりました。その後、交通事情により途絶えていたお祭りが昭和60年の政宗公350年祭を期に復活しました。

仙台青葉まつり

江戸時代、仙台藩最大の祭りは宮町東照宮の祭礼「仙台まつり」で、毎年9月に行われるようになります。その後、交通事情により途絶えていたお祭りが昭和60年の政宗公350年祭を期に復活しました。

日専連は、青葉まつりへの市民の参加を歓迎しています！



日専連青葉組募集中!!

日専連青葉組はダイナミックなすすめ踊りとお囃子で、青葉まつりを宵まつりから山鉾巡行パレードまで盛り上げます。

また、夏すすめはじめ通年で活躍中です。
親切にご指導いたしますので、未経験者・初心者でも大歓迎です。青葉組と一緒におまつりを楽しみましょう。

◆踊り手…小学生以上
◆お囃子…(太鼓・笛)高校生以上
男女不問、太鼓・衣装貸与、未成年者は保護者の承諾が必要です。

◆練習日…毎週火曜日 19時～21時
◆費用…入会金1,000円
立町)無料駐車場有り

◆練習場所…立町小学校(仙台市青葉区
男女不問、太鼓・衣装貸与、未成年者は保
護者の承諾が必要です。

◆費用…入会金1,000円
年会費6,000円
まつり参加費他

「愛姫」の応募は封書又はメールで ●締切/2020年3月23日(月)必着
「青葉組」の応募は郵送・FAX・メールで ●随时受付中
●お問い合わせ TEL022-266-3541 日専連仙台

●メールで jimukyoku@nissenren-sendai.jp
●郵送で 〒980-0014仙台市青葉区本町2-16-12 仙台商工会議所4F
●FAXで FAX 022-267-6654
日専連仙台「青葉まつり愛姫」係・「青葉組」係

※ご記入いただいた情報は仙台青葉まつり「日専連政宗公兜山鉾」巡回パレードに関わる事項の他、(協)日専連仙台が参画する地域のおまつりや、(協)日専連仙台のイベントに関する事項以外には使用いたしません。

